

教科 科目名	理科	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位
	生物基礎	履修学年(類型)	1 学年	
教科書名(出版社名)		生物基礎(数研出版)		

●学習到達目標

生物や生物現象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的な自然観を育成する。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	生物の多様性と共通性	顕微鏡の実験や細胞に関する学習を通して生物の共通性を理解する。また、多様な生物が持つ共通の特徴を見いだして表現する。
	6月	エネルギーと代謝	物質代謝とエネルギー代謝の違いと共通性を理解する。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。
	7月	呼吸と光合成	光合成と好気呼吸の類似点や相違点を学びながら、エネルギー循環の全体像を理解する。
2	9月	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配	・遺伝情報担う物質としてのDNAの特徴を見いだして理解する。また、塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。
	10月	遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	・減数分裂時の染色体の動きを把握する。 ・遺伝情報の転写・翻訳の流れを理解する。
	11月	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ	・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。
	12月	体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係性を見いだして理解する。また体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。 ・資料に基づいて異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。
3	1月	植生と遷移	植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解する。
	2月	植生の分布とバイオーム 生態系と生物の多様性	・植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。 ・生物の多様性と生態系について、資料に基づいて探求し、生態系における生物の多様性および生物と環境との関係性を見いだして表現する。
	3月	生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	・生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解し、保全の重要性を認識する。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識を問う問題に ほぼ解答できる 実験を効率良く行う	思考力を問う問題に解答できる 結果やデータから生物現象を 正しく読み取り、科学的に説明できる	生物現象に主体的に関わり、基本 と 応用を理解し、発言したり、振り返 る
B	基本的な発問に答えられる 実験を手順通り行う	結果やデータから生物現象を 正しく読み取ることがができる 生物の現象名が言える	生物現象、また基本と 応用の理解に 意欲を持って取り組む
C	基本的な発問に答えられない 実験に参加していない	結果やデータから 生物現象を判断しようとする	生物現象に興味を持つ
評価 方法	定期考査 発問に対する答え 実験に対する技能	定期考査 発問に対する答え	授業・実験・課題に取り組む姿勢 授業以外での質問等の活動 授業の積極性・発表
評価の 重み	$\alpha=0.5$	$\beta=0.3$	$\gamma=0.2$